

④

酒嘉敷島

海上越進基地第三大隊戰斗概要

昭和二十三年三月二十五日

第一軍團機務整理部



二作野地へ輸送

一第一梯団

本部並ニ各一六三中隊ハ九月二日宇品港に居  
九月十日神尾島砲臺砲隊嘉敷村(長良岡)列島渡  
嘉敷島(三)到着

二第二梯団

整備中隊ハ九月二日以後津島港に居  
又リ江田島幸ノ浦に居リ  
十日宇品港に居リ船中ノ都合ヨリ鹿見島迄  
ノ後九月二十七日渡嘉敷島到着ス

三作戦準備概略

一、①艦砲台、構築

勸務中隊ハ中隊①艦砲台ノ秘匿場所ヲ担任シ  
資材ノ不足ヲ克服シ湖濱式機ノ構築ニ専念シ

晝夜連続作業ヲ以テ昭和二十年青月中旬之ヲ  
概成ス

二、①艦砲水路、構築

各種方法ヲ比較研究シタル結果機式ニ決定  
機道ノ構築ヲナス

即チ秘匿場所ニ海中迄敷本構築對空偽裝  
ニ萬全ヲ期ス

三、①艦、整備

自働車エンジンヲ海兵ニ於テ使用スル為テ知  
水ニ海水ヲ使用スルモエンジン機油類等スル  
中ニシンガールヘッドカスタートノ般機カクノ部品不  
足、島内地延調集ニ行ク等困難アリ  
オバーホール等連續ニ整備中隊及勸務中  
隊整備員ニ奮闘ハ漲ゲマシキ事ナリ

4. 結論

第一、次目標期ヲ七月末トシタルモ準備中迄ニ至  
リタルノミ

第二期ヲ八月末ニ定メテ八月月中旬迄準備期ナ  
ルニ付、艦中九十八艘ノ去出可能艦アリ、  
越上野斗ノ為、陣地ハ水際陣地ノ轉易ナルニ付、  
第一カールニナリ

四、編成改正

球多編成第一、見合見合却テ言リ、獨立第三大隊

一、編成下令

大隊ハ左記ノ通り、部隊ニ分割セラレ

一、獨立第三大隊

大隊長 大隊本部、大部

勤務中隊三(各々小隊各)

3. 第三整備隊

整備中隊ノ全部

昭和二十年八月十八日編成完結

獨立第三大隊、同日松州船ニ乗テ津浦本島ニ

移駐、長尾野大里村ニ於テ獨立混成第四團

團長ノ指揮ニ入ル

第三勤務隊及第三整備隊ハ依然、後嘉敷島

ニ殘留シ海上警備第三隊隊長ノ指揮下ニ入リ

本然、任務ヲ續行ス

五、編成改正後作戰開始迄

一、獨立第三大隊

長尾野大里村ヲ取テ本部ヲ置キ各中隊

ハ附近ニ分宿、第三陣地ノ構築及對空警備

ニ努メ、糧食ヲテ又ト其ニ銳意地上野原ノ

訓練ヲナス  
及在渡嘉敷長部隊

新ニ水上勤務隊(將校以下約三百名主力ハ朝鮮人見  
ノ既展ヲ得テ從前ノ準備進行ノ善ニ軍夫ノ訓練ヲ  
ナス

六天野作  
は連の  
後を

六天野作黙開始後、在渡嘉敷長部隊

三月十五日空襲開始時十五分ヨリ日没迄部隊ハ  
全滅、全島至ル処山火事発生セルモ、  
シ兵員ニ三名死傷

三月十四日夜明ヨリ日没迄空襲アルモ被官ナシ  
三月十五日慶良間海峡ニ陸用舟艇八隻巡洋艦ノ  
掩護下ニ進入、終日空襲並ニ艦砲射撃アリ、  
共ニ被官ナリ、格ノ熟スルヲ待シ、夜ニ入り、  
長ノ

船舶隊司令部ヨリ入電アリ、  
出雲級艦船ノ自便シテ那覇港ニ駐留スバ  
シト

戦道ノ困難ナルヲ知リ止ムナクレバ狼狽突  
撃シント出雲級準備ヲナス  
第一中隊正面ハ敵艦船正面ニ在リ射撃隊  
ヲ以テ不敵ナリシモ第二中隊ハ準備完了

約二十隻ヲ返米ス  
時ニ船舶團長大野大佐(先ニ慶良間列島  
ノ視察ヨリ来ラレ空襲開始ノ為ニ在リ)  
シ得ヤリシ(昏)あり第三中隊ノ出雲級  
ハ企圖ヲ果シ露シ他ノ敵艦ノ影ヲ見  
キト、出雲級準備ノ進シタル事ヲ明ナ  
ラ理由ニ艦外補給ヲ命シラレシモ其時



明ナリ、四五艘ヲ引レケシ、三、他八、疾ク敵  
ヲ白刃スルノ止ムナキニ至ル

三月二十六日

敵上陸近シト全員水際陣地、敵ヲ終日空海  
リ、夜更續ク

空襲用船前島出シアリタル船舶團長大野大佐  
第五基隊隊長三池少佐、独立第三大隊隊長  
鈴木少佐、其他随員ヲ沖繩本島ニ送還ス  
ベクニ、敵ノ④ヲ没水令棄セシメテ、千村坂ヲ焚セシ  
ム

三月二十七日 二十八日

空襲續ク

留利加波附近、及ニ被嘉司久ニ敵上陸、各々中夜  
強襲備シ、差甚クシテ、書問ノ野間通切ナラズ、刻

断ニ夜ニ入ルヲ待シ、書問鳴、大砲ヲ多ク放シ、  
強襲ノ敵軍ヲラズ、第一中隊、敵軍、而シテ、  
、被嘉司久ノ味、敵軍、突入、敵軍、  
、三月二十八日、日、野間

三月九日

書問ノ敵情ヲ偵察シ、夜間、總員所、  
、三月九日、敵軍、シ、  
、敵、撤退ス

火器ヲ如何トモ術ナリ、傍觀ス、被嘉司久  
、此、敵軍、其、他、  
、修理、之、具、其、他、完、屋、  
、三月九日、敵軍、  
、再、海、上、作、戦、  
、先、④、  
、先、④、

中尉八連中転覆シ島ニ退却スル者多シ(其日)  
買日 嘉手納附近ニ陸軍ノ用掛トナル者多シ  
多岐地ニ陣取リ糧食等自活体勢ノ確立ニ  
慮入ル

五月十日再度敵兵獲約シ大隊各隊ヲ統令アリ  
ルモ詳細記憶カズ 斬込流ヲ捕食シテ糧食  
ナル斬込ハナシタルモ却流ノ總員ヲ撃テテ敵  
斗作部ナシ食糧ノ窮迫甚クシテ陸軍ノ糧  
草毛動物ニ大凡令ハ相ナシタル者多シ食  
糧乏乏大朝ニテ死亡者續カス

八月十日敵兵力増強スルト共ニ火力ヲ加増前  
子〇米ノ位置ニ集申總攻奏看ルルト軍情  
依然精神力ノ盛ナルモ敵兵ノ攻勢ニ付  
失亡惟荒瀆トシテ死傷者多シ 島内全員ニ蓋シ

八月十日普敵戦トナルトテ八月十六日米軍軍便  
ノ手紙ニヨリ知ル

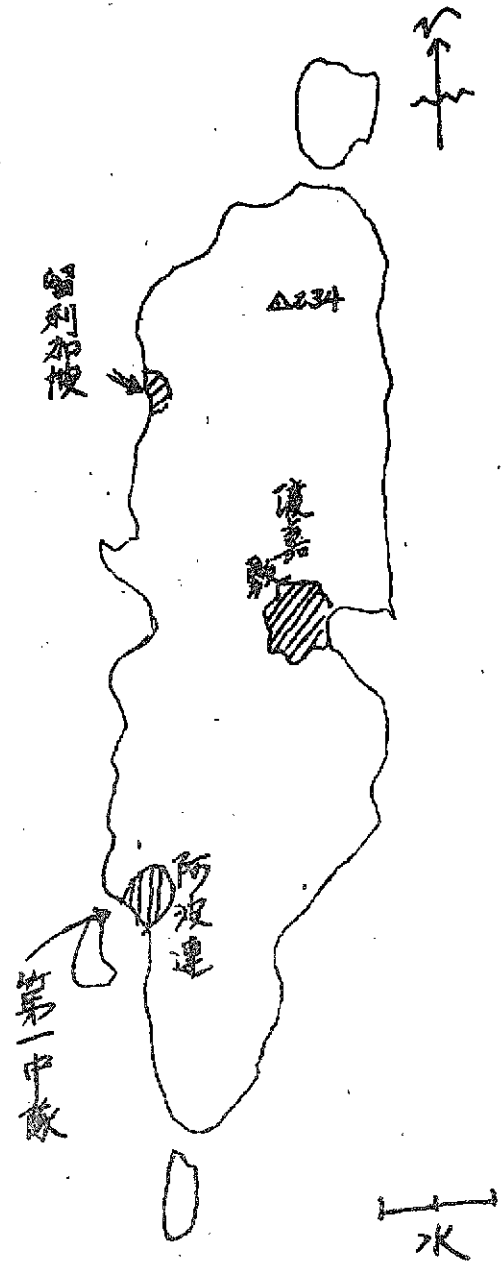
七

独立第三大隊ノ行動  
慶良間列島宮城嶽南端トメ大隊長鈴木  
大佐遂ニ歸任セズ先任將校陸軍大尉更田  
善清大隊長代理トナル

五月初旬迄ハ全然戦斗ニ及セズ専ラ陣地ノ増  
強及兵員ノ訓練ヲナス  
五月初旬 阿波茶前附近ノ戦線ニ加入此升以後  
將校ハ全員戦死シ生キ残レル下士官兵ノ言  
ヲ聞クモ全体的行動ハ明確トラス  
調査スルニ方法ナシ  
大鹿ノ過半數ハ阿波茶前田附近ノ戦線ニ  
リ戦死セルモノ如シ

(赤松大可)  
帰還途中の状況等の略

渡嘉敷島略図



*[Faint, mostly illegible handwritten notes in Japanese, likely describing the journey or the map's details.]*

以